令和6年度　矢島中学校　学校経営構想図

学習指導要領が求めるもの

○育成を目指す資質・能力
・実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
・学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」
○主体的・対話的で深い学び
○カリキュラム・マネジメント

自主　**敬愛**

学校教育目標

主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

秋田県学校教育が目指すもの

「豊かな人間性を育む学校教育」
Ⅰ　思いやりの心を育てる
（人間愛、開かれた心）
Ⅱ　心と体を鍛える
（たくましさ、働くことの喜び・意義）
Ⅲ　基礎学力の向上を図る
（学ぶ意欲と態度、個性と能力の伸長）
Ⅳ　教師の力量を高める
（識見と教育愛、研修の充実）

目指す生徒像

①　主体的に学び、集中して考える生徒	②　鍛え合い、たくましく生きる生徒	③　心豊かで礼節を重んずる生徒
夢や目標をもち、自分の考えや思いを表現できる矢中生	積極的に活動し、協力しながら粘り強く取り組む矢中生	明るくさわやかなあいさつを交わし、思いやりとやさしさをもって行動する矢中生
[立]	**[錬]**	**[情]**

目指す学校像

○　学ぶ意欲や分かる喜びにあふれた、学力が身に付く学校
○　互いに認め合い、共に高まり合う活力に満ちた学校
○　礼節を重んじ、明るいあいさつが広がるあたたかい学校

目指す教師像

○　生徒に寄り添い、共に歩みながら自己の指導力を高める教師
○　同僚性を育みながら学校経営に参画する教師
○　生徒一人一人を愛し、生徒や家庭、地域から信頼される教師

経営の基本方針

〈保護者・地域と共に　生徒の願いをかなえる　学校づくり〉

(1)　生徒を主体とした経営の推進

子どもへの寄り添いを原点に、生徒の主体性を育む学校経営を推進する。
「成長の保障」と「学力の保障」を質的に高めながら、すべての生徒にとって楽しく安全に生活できる場である学校・学級づくりに努め、生徒個々が主体的に自己を表現し、粘り強く　物事に取り組もうとする生徒の育成を目指した学校づくりを推進する。

(2)　保護者・家庭との連携を深め、共に歩む学校づくりの推進

学校の取組や考え方を積極的に公開し保護者や家庭の声も活かした学校経営に努める。また、情報提供や共有を適宜に図り、よりよい相互関係を築きながら、学校への信頼の質を高めていく。学校と保護者・家庭との関係においては、「寄り添った丁寧な関わり」を推進する。

(3)　地域の特性を生かした活動の推進

ふるさと教育の趣旨に沿い、ＣＳとしての取組を推進しながら、地域活性化の核となる学校づくりを目指す。学校と地域相互連携による地域への貢献活動を幅広く展開し、生徒と地域の方々との交流など地域を活性化させる活動を通して、豊かな心の育成とふるさと愛に満ちた次代を担う人材づくりに努める。また、地域の人材や環境を積極的に活用し、地域に根ざした教育を進める。

重点実践事項

【学力の保証】

確かな学力の育成

・主体的に活動するための導入の工夫
・主体的な学び合いのコーディネート
・基礎学力の定着につながる評価の工夫

【成長の保障】

豊かな人間性と、共にたくましく生きる心と体の育成

・三道教育や各種活動を通した主体的活動の推進（自己肯定感の育成）
・縦割り活動導入による自己有用感の育成
・地域の特性を生かしたキャリア教育の推進
・体育的活動や部活動等を通した体力の増進と望ましい生活習慣の形成

【礼儀・礼節の充実と連携推進】

家庭、地域、他校種との連携をふまえた学校経営

・三道教育（書道・茶道・剣道）の推進
・ＰＴＡ、諸行事、学校開放日等を活用した連携の推進
・コミュニティスクールや学校評価、保護者アンケート等を活用した経営改善
・中高連携のメリットを活かした実践